

音のこうずい

電車に乗っていたときのことです。

電車が駅に着くと、ぼうしをかぶったお年よりが乗ってきました。そして、まわりにも聞こえるような声で、一人で何かぶつぶつぶやき始めました。

電車の中に、へんな空気が流れ出しました。お年よりの前にすわっている女の人は、どうしたらよいか少しとまどっている様子です。

（電車の中なんだから、しずかにしてほしいのに……。）
ぼくは、そう思いました。

まもなく、どこからか気になる音が聞こえてきました。

シャカ シャカ シャカ シャカ シャカ

シャカ シャカ シャカ シャカ シャカ

電車のドアのそばに立っている男の人のイヤホンから、



音がもれているのです。

(うるさいなあ……。)

ぼくは、気になってしかたがありません。

そこに、車内放送が流れました。

「ゆう先せきふ近では、こんざつ時にはけいたい電話の電げんをお切りください。その他の場所では、マナーモードにして通話はご遠りください。」

とつぜん、すわっている女の人のけいたい電話が鳴りだしました。

プルル プルル プルル

プルル プルル プルル

女の人は、急いでかばんからけいたい電話を取り出すと、

「もしもし、もしもし……。」

といて、話し始めました。いつまでもおしゃべりをしていて、なかなか終わりません。

話が終わったかと思うと、また、けいたい電話が鳴りました。今度は、ちがう着しん音です。

あわててけいたい電話を取り出したおじさんは、

「今、電車の中なんだ。おりてからすぐに電話するから……。」

そういって、けいたい電話を切りました。

しばらくすると、今度は、



カタ カタ カタ カタ

と、みょうな音が聞こえてくるではありませんか。

見ると、スーツがたの男の人が、ざせきにすわって、むちゆうになってパソコンのキーボードを打っているのです。

とつぜん、さつきからぶつぶついていたお年よりが、大きな声でいいました。

「ここをどこだと思ってるんだ！」

(電車の中なのに、みんな、どうしてしまったんだろう……。)

ぼくは、考えこんでしまいました。